

16 新田町内会（安城市）

地域自主防犯活動活発化促進事業

実施結果報告書

1 団体名	新田町内会
2 事業名	安全・安心なまち、新田区域
3 事業実施結果	<p>当町内会区域は、新田町、弁天町、新明町及び東新町の一部で構成され、区域内を鉄道や主要地方道が縦横し、他地域からの人・車の流入も多い。</p> <p>また犯罪の認知件数は、市全体が年々減少傾向で推移するところ、当町内会区域は横ばいないし微増の傾向にある上、侵入盗被害が慢性的に発生しており、地理的特性からも、侵入盗や自動車盗の今後の発生が強く懸念される。</p> <p>本年度、安城市より犯罪抑止モデル地区に指定されたことを契機に、「安全・安心なまち、新田区域」の実現に向けて、市、警察及び地元企業と連携し、区域住民が一丸となって各種自主防犯活動を実施した。</p> <p>1. パトロール隊報等の作成（A事業）</p> <p>新田防犯パトロール隊は約50人の隊員を擁し、週3回の徒歩パトロールと週2回の青パト車による防犯パトロールを実施しているが、隊の活動活性化及び持続のため、活動内容の周知と参加を呼びかける隊報を創刊、区域内にて全戸回覧を行った。</p> <p>また、併せて町内会報を創刊し、区域全体の自主防犯活動を同会報にて紹介（全戸回覧）することで、これら活動の活発化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パトロール隊報：創刊号（R4.6）、第2号（R4.8） ・町内会報：創刊号（R4.6）、第2号（R4.8）、第3号（R4.11） <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div data-bbox="395 1536 1002 1935" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">新田防犯パトロール通信</p> <p style="text-align: center;">平成18年発足、誕生16年の歴史と勇気あるパトロール隊です！</p> <p>私たち新田防犯パトロール隊は令和4年度に安城市から「犯罪抑止モデル地区」として任命され、我が町新田地区が犯罪のない住み良い街になるよう日夜防犯活動に精進しております！街角で見かけましたら是非共お声がけくださいね！</p> <p>令和4年4月現在、夜間パトロール隊員と青パト隊員合わせて約50名の勇士が隊員登録され、町内の犯罪抑止に動いております！</p> </div> <div data-bbox="1018 1525 1485 2018" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">しんでんタイムズ</p> <p style="text-align: right;">第3号 新田町内会 発行所：新田町内会 〒496-7615 安城市新田 0566-7615542</p> <p style="text-align: right;">新田 ファミリアフェスタ 10/2日</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="587 1935 799 1995" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">パトロール隊報</div> <div data-bbox="890 1973 1038 2018" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">町内会報</div> </div>

このほか、警察・市職員と区域住民（パトロール隊以外の有志も含む）の合同による「区域内合同防犯パトロール」を8月及び12月の計2回実施、延べ約90人の住民が参加し、区域内のパトロールと通行者への声かけを行った。



合同パトロールの状況（8月）

2. 時機を捉えた啓発活動等の実施（B事業）

(1) かぎかけスタンプラリーの実施

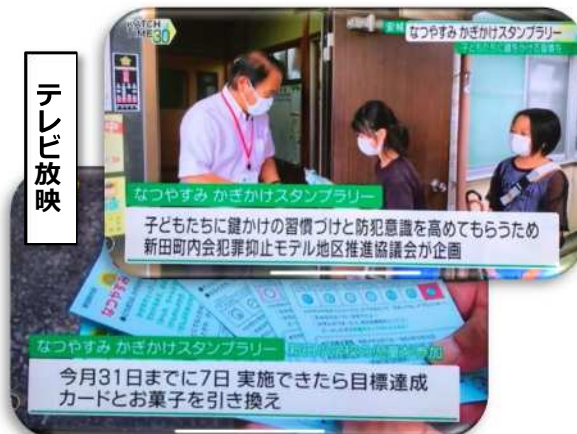
低年齢層における鍵かけ習慣の定着と防犯意識の高揚のため、地元企業「おかしカンパニー安城店」の協力を得て、新田小学校の全生徒を対象に、夏休み期間中、「かぎかけスタンプラリー」を開催した。

多くの児童が同ラリーに取り組み、達成した児童には景品（菓子詰合せ）が贈られたほか、本取組みは地元ケーブルテレビで放映され、広く家族ぐるみでの防犯意識の向上に寄与した。

スタンプカード



テレビ放映



(2) 各町内行事における啓発活動の実施

ア 七夕や町内夏祭りに併せた防犯啓発活動

安城七夕まつり（8月）に併せ、区域内の保育園児による「防犯標語入り短冊」への願いごとの書入れ及び掲示を行い、また町内夏祭りでは「防犯かるた」大会を開催して、低年齢児の連れ去り対策などを呼びかけた。



標語入り短冊の作成



防犯かるた大会の開催

イ 地元キャラクターを活かした啓発4コマ漫画の作成
 区域内に所在する童話作家新美南吉の下宿先のイメージキャラクターを活用し、特殊詐欺への注意を呼びかける4コマ漫画を作成、新聞等で報道されたほか市HP等にも掲載。現在も続編を作成中。



4コマ第1話 (チラシ・ポスター型)



4コマ第2話



4コマ第3話

ウ 敬老の日に併せた高齢者への侵入盗・特サギ被害防止啓発
 区域内の80歳以上の高齢者408人に対し、補助錠（ワンタッチシマリ）や上記4コマ漫画を活用した啓発プレート（電話機やその周辺に取り付けるもの）を配付し、多発する侵入盗や特殊詐欺への注意を呼びかけた。



敬老の日にあわせて町内会に入っている80歳以上の408人にプレートとチラシを配布

エ 子持ち世帯への侵入盗被害防止啓発

家族向けの町内イベント「新田ファミリーフェスタ」において、補助錠や防犯砂利などの侵入盗対策グッズの機能体験ブースを設置、参加した約 160 世帯に対策品（補助錠、対ガラス割りフィルム）及び啓発標語入りトイレットペーパーを配付し、侵入盗対策を呼びかけた。

CP 部品・補助錠の体験



防犯砂利の体験



(3) 老人会における防犯講座の開講

地元老人会「新田老壮会」の定例誕生会において、愛知県警防犯活動専門チーム「のぞみ」を招聘しての「寸劇による特殊詐欺被害防止講座」を開催、サギの各手口への注意を呼び掛けた。

特サギ防止講座



寸劇の様子



(4) 公民館講座における防犯講話の実施

6月及び11月の計2回、公民館長主催の「身近な犯罪から身を守るために」と題した防犯講座を開催、延べ約130人が受講した。

第1回の様子



第2回の様子



3. 地元企業等と連携した活動の実施（C事業）

区域内の企業「大見工業株式会社」「株式会社ヤマコ」の協力を得て、両社への大型横断幕の設置を行ったほか、地元営農組合の農作業車や軽トラックへの防犯啓発マグネットシートの貼付を実施し、地域の連携強化と地域安全意識の高揚を図った。



横断幕・大見工業



横断幕・ヤマコ

4. 地元神社の清掃・神事に併せた挨拶・声かけ運動（D事業）

地元の「市杵島姫社」の一斉清掃及び祭礼準備に併せて、参加した住民約200人による付近通行者へのあいさつ・声掛け運動を実施、地域住民の連帯感及び不審者を寄せ付けない「地域の目」の醸成を図った。

また活動後には、参加者への労いを兼ねて啓発メッセージ入り（車上ねらい等）の入浴剤を配付、市内で多発する同手口への注意を呼び掛けた。



実施・啓発の状況

5. 「まちの防犯診断」に基づく犯罪防止環境整備（E事業）

4月に実施した、防犯設備士、警察署・市職員及び町内会役員合同による「まちの防犯診断」（防犯上の危険箇所等の点検）の結果に基づき、区域内全戸に配付した「防犯プレート」の掲示や児童公園等への横断幕の設置、市への防犯灯の緊急設置要望を行い、区域内の防犯環境を整備した。



防犯プレート



横断幕・児童公園

(1) 事業実施の成果及び課題

ア 犯罪認知件数に係る成果

令和4年中、安城市のみならず県全体でも前年に比べて認知件数が増加しているところ、町内会区域における主要な犯罪の認知件数は前年比マイナス約17%（暫定値）であり、住民の身近な犯罪を減少させることができた。

イ 防犯パトロール隊等の活動活発化に係る成果

隊報を創刊し活動内容の周知や隊員募集を行ったところ、新たに隊員16人の加入が得られたほか、区域合同パトロールには隊員以外の住民が参加するなど、活動が大いに盛り上がった。

ウ 区域内の防犯環境に係る成果

区域内の全戸に配付した防犯プレートは、各種活動やキャンペーンを行うにつれ掲示率が上昇、年末にはほぼ全ての世帯において掲示され、児童公園付近などに存在した防犯上の脆弱箇所へのLED防犯灯及び横断幕の設置と併せ、区域内の防犯環境の改善に寄与した。

また配付した補助錠等の活用により、各戸の防犯力も向上した。

エ 住民の防犯意識に係る成果

上記イのとおりパトロール活動への理解や参加が得られただけでなく、町内行事に併せたキャンペーンや防犯講座により、地域全体の防犯意識を高めることができた。

オ 課題

(ア) 高齢者対策

区域内には独居の高齢者も多く、また未だに高額金品を自宅保管している世帯もあると思われる。多発する侵入盗や特殊詐欺への注意喚起を継続しつつ、「高齢者がより耳を傾けるような方法での啓発」も模索・検討しなければならない。

(イ) 農地や倉庫等の対策

区域内には田畑や農機具倉庫が多くあるが、市内ではハウス用の燃料や農機具等金属の盗難被害が発生しており、経済情勢が不安定な昨今、これら被害への対策も呼びかけていく必要がある。

(ウ) 活動の継続

本年の成果を一過性のものとしないう、各種活動を継続することが何より重要と考える。

(2) 今後の取組み

本年は、いわゆるウィズコロナでの各種社会活動の再開をみる中で、複数の町内行事を開催、同行事に併せて防犯キャンペーンを行うことで、多くの住民に防犯を訴えることができた。今後も、市や警察と協働してこれら行事における啓発活動を推進するなどし、区域内における自主防犯活動の活発化とその定着を図りたい。